

●手足口病の流行に注意しましょう

手足口病は、夏に多い風邪の一種で患者報告数が7月上旬から増え始めています。子どもによく見られる病気ですが、大人にも感染します。今後、流行の拡大が予想されますので注意が必要です。

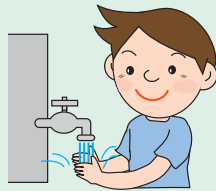
●手足口病とは

手のひら・足の裏・口の中などに水泡性の発疹^{ほっしん}ができる感染症です。また、軽い発熱と食欲不振・不快感^{ふくたいかん}のどの痛みを伴うこともあります。手足口病は、重症になることは少なく、多くの場合7日～10日で治りますが、まれに、髄膜炎などを伴うことがあります。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、経口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染する)が知られています。特に、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、子どもたち同士の生活距離が近く、衛生観念がまだ発達していないため、施設の中で手足口病の患者が発生した場合には、集団感染が起こりやすいです。

●手足口病を予防するためには

手をよく洗うことと排泄物をきちんと処理することが大切です。患者の便には、1カ月ほど病原体のウイルスが出ている可能性があります。特に乳幼児のオムツを替えた後などは、よく手を洗いましょう。また、ウイルスが付着する可能性があるので、タオルは別々のものを使いましょう。



■ビスフォスフォネート系薬剤 関連顎骨壊死について

川口市立医療センター

はら あきら
歯科口腔外科部長 原 彰



ビスフォスフォネート系薬剤(BP剤)は骨粗鬆症の第一選択薬です。他には、がんの骨転移、高カルシウム血症などの治療に用いられています。BP剤投与された方にのみ顎骨壊死がとてもとて稀に発症します。ビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死(BRONJ)と呼ばれます。

顎骨壊死とは、顎の骨が化膿した状態で、腫れ、痛み、膿み、骨露出、時に病的骨折などの症状を呈します。

抜歯処置を受けた後や汚れた歯にBRONJは発症します。有効な治療法はなく、治りにくいのが現状です。現時点では発生を予防することが効果的です。

まず、BP剤で治療中そして予定の方は、BP剤のことをかかりつけ歯科にお伝え下さい。そこで歯科口腔管理(ブラッシング指導、歯石の除去など)を受け、続けて下さい。

BP剤投与予定の方は、その処方主治医と相談され、時間的余裕があれば、抜歯すべき歯をこの機会に抜かれてからBP剤を始められて下さい。

BP剤で治療中の方は、抜歯が必要な時、心配な症状がある時には、必ずかかりつけ歯科か歯科口腔外科で相談して下さい。

大切なことは、自己判断でBP剤をかけてにやめないこと。BP剤を中断すれば大腿骨折、骨転移などのリスクは増えます。それに比べればBRONJはとて小さな事象です。投与開始前の歯科受診、そして日常のお口のお手入れがBRONJの発生の予防となります。

ひと

日本の「ものづくり」を 世界に証明

洋裁師 宮塚 文子さん (芝樋ノ爪)

昭和34年3月、米国の玩具会社マテル社から当時としては画期的な人形が発売された。スマートな容姿にファッショナブルなドレスを着せ替えることができる人形「パービー」だ。実はデビュー当時は日本製。マテル社は、製造原価の低い日本を生産拠点を選び、玩具製造問屋に生産を依頼。その会社にパービーのドレス係として採用された。女学校卒業後、母から「手に職をつけたら」と始めたのが洋裁だった。経験はないが、のめり込む性格も手伝って人一倍勉強し、洋裁が面白くなってきたころだった。「面接では小さな服を作ったけど、そのときはまだ人間の服を作りたいと思ってたのよ」と振り返る。

採用後は、米国から来たデザイナーのシャロット・ジョンソン女士と帝国ホテルの一室でドレスの研究・開発をすることに。ホテルでは9時から17時まで、その後日本橋の会社に戻り作業を続け川口の自宅に終電で帰宅。家で翌朝5時まで作業して2時間寝る。そんな生活が1年間続いた。「ドレス係は私一人。使命感でいっぱいだった。家では母に心配を掛けまいと布団の中で作業したりしてね。忙しかったけど毎日楽しくあったわ」とニコリ。試行錯誤の末、22セットのドレスと1着の水着が完成。世界おもちゃショーでは絶賛を浴び、発売されるや世界中の人々のハートをくわんだ。「本当に嬉しかったわ」。



女性を犯罪から 守る安全対策

防犯

帰宅途中の女性や一人暮らしの女性は犯罪被害に遭うリスクが高まります。夜間に帰宅するときや自宅での安全対策について、もう一度確認してみましょう。



○夜間帰宅時の安全対策

- ・夜間の一人歩きは、なるべく避けましょう。
- ・遠回りでも、人通りが多く明るい道を通りましょう。
- ・歩きながらの携帯電話やメール、ヘッドホンなどはやめましょう。
- ・防犯ブザーなどを持ち歩き、すぐに使える状態にしておきましょう。

○自宅での安全対策

- ・突然の訪問者には、すぐドアを開けず、ドアチェーンをかけたまま対応しましょう。
- ・外から見えるところに下着を干さないようにしましょう。
- ・郵便受けの表札には、フルネームの表示は避けましょう。
- ・帰宅時は、必ず周囲を確認してから家に入りましょう。

問防犯対策室 ☎048-242-6361